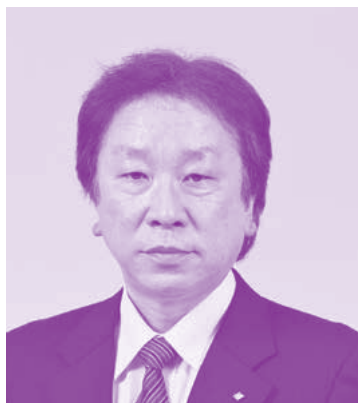




公益社団法人 兵庫工業会

会 長 三宅 俊也



兵庫工業会 NEWS

2025年 6 月号

発行／公益社団法人 兵庫工業会

No.319

兵庫工業会 会長就任のご挨拶

■ 巻頭言 ■

会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、兵庫工業会設立40周年の節目となる通常総会で、会長に推挙され就任いたしました。このような大役を拝命し、身に余る光栄であると同時に、その責任の重さを痛感しております。370社に及ぶ多岐にわたる業種・業態の会員皆様のご支援、ご協力を得て、微力ながら工業会の発展に尽力する所存です。

顧みますと、兵庫工業会は長年にわたり、地域経済の発展と産業基盤の強化に貢献してまいりました。今日、私たちは、グローバル化の進展、デジタル技術の急速な進化、環境問題への意識の高まりに加え、米中の貿易摩擦や関税問題など、かつてない変化と克服すべき課題に直面しています。特に、中小企業を取り巻く環境は厳しく、人手不足、原材料価格やエネルギーコストの高騰など、様々な経営課題が山積しており、このような状況下で兵庫工業会が果たすべき役割は、これまで以上に重要であると認識しております。

新体制のもと、私は以下の3つの重点課題に取り組んでまいります。

1. 会員企業へのきめ細やかな支援強化

会員企業の皆様が抱える課題に対し、より実効性のある情報提供、セミナー開催、個別相談支援を充実させます。特に、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進、GX（グリーントランスフォーメーション）への対応、BCP（事業継続計画）策定支援など、喫緊の経営課題に対する具体的なソリューションを提供できるよう、関係機関との連携を一層強化してまいります。

2. 若手人材の育成と確保への貢献

少子高齢化が進む中、産業の持続的発展には次代を担う人材の育成が不可欠です。産学連携を強化し、学生の皆様に兵庫県のモノづくりの魅力ややりがいを伝える機会を創出するとともに、会員企業の人材採用・定着を支援する取り組みを推進してまいります。

3. 地域社会との連携強化と魅力ある地域づくりへの貢献

工業会として、地域の活性化に貢献することは重要な使命です。行政や他団体との連携を密にし、地域ブランド力の向上や地域イベントへの参画などを通じて、兵庫県の産業が地域経済を牽引する存在として、その役割を全うしてまいります。

兵庫工業会は、会員企業の皆様の声に真摯に耳を傾け、皆様にとって真に役立つ存在でありたいと願っております。会員の皆様との双方向の意見交換を大切にし、県下の中小企業各社のご意見を工業会運営に取り入れ、中小企業と大企業、行政・学界と産業界が連携して、この先の大きな変化に対応できるような企業になっていただくことをご支援する事業展開を進めていきたいと思っております。

皆様からの積極的なご提案をいただき、「変化に挑戦 輝く未来へ」の基本方針の実現に、どうか格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の就任のご挨拶とさせていただきます。

2025年度第1回理事会(書面表決)及び 第66回通常総会・新会長就任披露パーティーを開催

5月9日(金)第1回理事会(書面表決)にて、以下の議案について69名の理事及び3名の監事の全員に賛成表決をいただきました。これにより、審議案件は、原案通り全て承認されました。

〈議案〉

第1号議案 2024年度事業報告について

第2号議案 2024年度収支決算について

第3号議案 役員の選任について

第4号議案 会員の入会について

第66回通常総会は5月30日(金)に正会員のうち297会員(委任状を含む)の出席のもと、神戸ポートピアホテルにて開催。宮協会長の開会挨拶に続いて、以下の議案について審議が行われ、全ての議案が原案通り承認されました。

〈議案〉

第1号議案 2024年度事業報告について

第2号議案 2024年度収支決算について

第3号議案 役員の選任について



宮協会長挨拶

〈退任役員の紹介〉

長年にわたり、ご指導ご鞭撻いただきまして、ありがとうございました。

会 長	宮 脇 新 也	(株)神戸製鋼所
副 会 長	神 門 登	ハニー化成(株)
〃	小 谷 要	グローリー(株)
理 事	大 島 孝一郎	大島金属工業(株)
〃	鳥 居 敬	川崎重工業(株)
〃	佐々木 裕	関西電力(株) 兵庫支社
〃	畠 田 真 一	旭光電機(株)
〃	大 溝 貴 史	(株)神戸製鋼所
〃	小 池 淳 司	神戸大学大学院
〃	清 水 泰 人	(株)シミズテック
〃	井 川 潔	住友ゴム工業(株)
〃	酒 井 秀 起	大和ハウス工業(株)
〃	上 村 勝 敏	(株)トーホー
〃	瀬 川 里 志	兵庫県中小企業団体中央会
〃	宮 内 康 伴	福伸電機(株)
〃	友 藤 公 雄	兵神機械工業(株)
〃	松 藤 稔	三菱重工業(株) 神戸造船所
〃	新 山 正 幸	三菱電機(株) 神戸製作所
監 事	福 田 孝	(株)福田博商店



総会の様子



退任される宮協会長へ花束贈呈

通常総会議案承認後に臨時理事会を別室において開催。役付理事の選任等を審議し、会長に三宅俊也氏を新任、副会長に金井宏彰氏、吉井満隆氏を再任、藤嶋純子氏、岡田兼明氏を新任、専務理事に神戸宏明氏、常務理事に川井諭氏を再任いたしました。

これらを通常総会出席者全員に報告し、第66回通常総会は滞りなく終了いたしました。

会 長	三 宅 俊 也	(株)神戸製鋼所	顧問	新任
副 会 長	金 井 宏 彰	金井重要工業(株)	代表取締役社長	再任
〃	吉 井 満 隆	バンドー化学(株)	取締役会長	再任
〃	藤 嶋 純 子	(株)フジ・データ・システム	代表取締役社長	新任
〃	岡 田 兼 明	大和産業(株)	代表取締役社長	新任
専 務 理 事	神 戸 宏 明	(公社)兵庫工業会	専務理事	再任
常 務 理 事	川 井 諭	(公社)兵庫工業会	常務理事 事務局長	再任
事 務 局 長				
理 事	69名			
監 事	3名			
(役員名簿は6、7頁に掲載)				

◆通常総会終了後、新会長就任披露パーティーを開催。新会長・副会長の紹介に続いて三宅新会長の挨拶で開会、来賓を代表して齋藤兵庫県知事、今西神戸市副市長からご祝辞をいただいた後、川崎神戸商工会議所会頭に乾杯のご発声をいただいて開宴いたしました。

ご参集いただきました来賓や会員の皆様が新任役員等を囲みながら和やかに歓談され、最後は、金井副会長の中締め挨拶で、大盛況のうちに幕を閉じました。



新会長・副会長の紹介



三宅新会長挨拶



齋藤知事来賓ご挨拶



金井副会長の中締め挨拶

新 会 長 紹 介



三 宅 俊 也
会 長
株式会社神戸製鋼所
顧問

新 副 会 長 紹 介



藤 嶋 純 子
副会長
株式会社フジ・データ・システム
代表取締役社長



岡 田 兼 明
副会長
大和産業株式会社
代表取締役社長

新 役 員 紹 介



河 内 信 哉
理 事
川崎重工業株式会社
総務本部 総務部長



武 市 泰 夫
理 事
関西電力株式会社
理事
兵庫支社長



尾 上 英 雄
理 事
グローリー株式会社
取締役副社長

新 役 員 紹 介



中 森 慶太郎
理 事

株式会社神戸製鋼所
執行役員



藤 井 稔
理 事

神戸大学大学院
工学研究科長



清 水 泰 司
理 事

株式会社シミズテック
専務取締役



徳 毛 裕 司
理 事

住友ゴム工業株式会社
執行役員 人事総務本部長 兼
ビジネストランスフォーメーション本部長



谷 口 晋 也
理 事

大和ハウス工業株式会社
神戸支店長



上 村 賢 作
理 事

株式会社トーホー
専務取締役



小 畑 克 弥
理 事

ハニー化成株式会社
常務取締役



谷 口 幸 史
理 事

兵庫県中小企業団体中央会
専務理事



宮 内 健三郎
理 事

福伸電機株式会社
代表取締役社長



福 田 孝
理 事

株式会社福田博商店
代表取締役社長



友 藤 昇 平
理 事

兵神機械工業株式会社
代表取締役社長



江 村 治
理 事

三菱重工業株式会社 神戸造船所
所長代理



脇 坂 岳
理 事

三菱電機株式会社 神戸製作所
総務部長



一 二 三 隆
監 事

公益財団法人
ひょうご産業活性化センター
常務理事 兼 企画経営室長

公益社団法人 兵庫工業会 役員名簿

2025年5月30日付

役職名	氏 名	会 社 名	役 職
会 長	三 宅 俊 也	株 式 会 社 神 戸 製 鋼 所	(顧 間)
副 会 長	金 井 宏 彰	金 井 重 要 工 業 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	吉 井 満 隆	バ ン ド ー 化 学 株 式 会 社	(取 締 役 会 長)
〃	藤 嶋 純 子	株 式 会 社 フ ジ ・ デ ー タ ・ シ ス テ ム	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	岡 田 兼 明	大 和 産 業 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
専 務 理 事	神 戸 宏 明	公 益 社 団 法 人 兵 庫 工 業 会	(専 務 理 事)
常 務 理 事	川 井 諭	公 益 社 団 法 人 兵 庫 工 業 会	(常 務 理 事 事 務 局 長 兼 総 務 部 部 長)
理 事	安 原 浩 一	ア ー ス 製 薬 株 式 会 社	(ア ド バ イ ザ ー)
〃	金 子 敏 之	株 式 会 社 I H I 相 生 事 業 所	(相 生 事 業 所 長 兼 相 生 総 務 部 長)
〃	千 田 伸 二	株 式 会 社 ア シ ッ ク ス	(副 社 長 執 行 役 員)
〃	阿 比 野 剛	阿 比 野 建 設 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 会 長)
〃	井 上 美 智 代	株 式 会 社 井 上 鉄 工 所	(代 表 取 締 役 専 務)
〃	伊 福 元 彦	伊 福 精 密 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	大 庫 良 一	オ ー ク ラ 輸 送 機 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	山 東 要	大 阪 ガ ス 株 式 会 社	(理 事 兵 庫 地 区 統 括 支 配 人)
〃	岡 村 武 和	株 式 会 社 O K A M U R A	(相 談 役)
〃	吉 田 修	音 羽 電 機 工 業 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 会 長)
〃	陰 山 聡	陰 山 電 機 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	加 古 泰 三	株 式 会 社 カ コ テ ク ノ ス	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	高 橋 勝 彦	カ ル モ 鋳 工 株 式 会 社	(常 任 顧 間)
〃	河 内 信 哉	川 崎 重 工 業 株 式 会 社	(総 務 本 部 総 務 部 長)
〃	久 木 元 悦 子	株 式 会 社 関 西 工 事	(代 表 取 締 役)
〃	武 市 泰 夫	関 西 電 力 株 式 会 社 兵 庫 支 社	(理 事 兵 庫 支 社 長)
〃	頃 安 雅 樹	K L A S S 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	尾 上 英 雄	グ ロ ー リ ー 株 式 会 社	(取 締 役 副 社 長)
〃	上 月 安 重 郎	上 月 ウ デ ィ ッ ク ス 株 式 会 社	(代 表 取 締 役)
〃	中 森 慶 太 郎	株 式 会 社 神 戸 製 鋼 所	(執 行 役 員)
〃	藤 井 稔	神 戸 大 学 大 学 院	(工 学 研 究 科 長 ・ 工 学 部 長)
〃	大 前 治 久	株 式 会 社 コ ベ ル コ 科 研	(取 締 役 執 行 役 員 兼 企 画 管 理 部 長)
〃	黒 田 直 樹	三 相 電 機 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	石 井 康 文	株 式 会 社 三 和 製 作 所	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	平 松 慶 大	ジ ェ ミ ッ ク ス 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	小 野 隆	シ ス メ ッ ク ス 株 式 会 社	(取 締 役 常 務 執 行 役 員)
〃	清 水 泰 司	株 式 会 社 シ ミ ズ テ ッ ク	(専 務 取 締 役)
〃	眞 下 忠	神 港 精 機 株 式 会 社	(相 談 役)

役職名	氏 名	会 社 名	役 職
理 事	井 上 直 也	新 光 電 機 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	徳 毛 裕 司	住 友 ゴ ム 工 業 株 式 会 社	(執行役員 人事総務本部長 兼 ビジネストランスフォーメーション本部長)
〃	番 所 利 行	株式会社洲本整備機製作所	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	柴 田 勲	株 式 会 社 誠 工 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	中 川 啓 之	第 一 熱 研 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	谷 口 晋 也	大和ハウス工業株式会社 神戸支店	(神 戸 支 店 長)
〃	瀧 川 松 平	滝 川 工 業 株 式 会 社	(取 締 役 社 長)
〃	山 田 圭 祐	株 式 会 社 タ ク ミ ナ	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	上 村 賢 作	株 式 会 社 ト ー ホ ー	(専 務 取 締 役)
〃	中 川 裕 子	日本ライニング工業株式会社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	安 藤 隆	株 式 会 社 布 引 製 作 所	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	松 宮 雅 一	白 鶴 酒 造 株 式 会 社	(執行役員 生産本部 副本部長)
〃	小 畑 克 弥	ハ ニ ー 化 成 株 式 会 社	(常 務 取 締 役)
〃	豊 嶋 義 富	菱 井 商 事 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	三 宅 智 章	姫 路 信 用 金 庫	(理 事 長)
〃	畑 豊	兵 庫 県 公 立 大 学 法 人	(理事 兼 兵庫県立大学副学長)
〃	谷 口 幸 史	兵庫県中小企業団体中央会	(専 務 理 事)
〃	阿 倉 和 哉	株式会社兵庫精密工業所	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	宮 内 健三郎	福 伸 電 機 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	福 田 孝	株 式 会 社 福 田 博 商 店	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	上 村 貴 典	古 野 電 気 株 式 会 社	(執行役員 船用機器事業部 三木工場長)
〃	降 矢 寿 民	フ ル ヤ 工 業 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	友 藤 昇 平	兵 神 機 械 工 業 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	市 田 邦 洋	兵 神 装 備 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	竹 田 典 高	ま ね き 食 品 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	酒 井 俊	株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	(公共・金融法人部 部長)
〃	三 津 千久磨	ミ ッ 精 機 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	江 村 治	三菱重工業株式会社 神戸造船所	(所 長 代 理)
〃	脇 坂 岳	三菱電機株式会社 神戸製作所	(総 務 部 長)
〃	倉 本 信 二	三 ツ 星 ベ ル ト 株 式 会 社	(取締役常務執行役員 人事総務本部長)
〃	宮 脇 隆一郎	宮脇機械プラント株式会社	(取 締 役 会 長)
〃	村 元 秀 士	株 式 会 社 村 元 工 作 所	(社 長 室 長)
〃	下土井 健 城	明 興 産 業 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	山 本 博 和	株式会社山本電機製作所	(代 表 取 締 役 社 長)
監 事	近 藤 輝	大 王 電 機 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	吉 田 洋二郎	長谷川電機工業株式会社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	一 二 三 隆	公益財団法人ひょうご産業活性化センター	(常務理事 兼 企画経営室長)

兵庫工業会

第12回産業論文コンクール

最優秀賞
論文

論題「変化に向き合う企業人への成長」 ～技術の進歩と自らの可能性を信じて～

音羽電機工業株式会社 雷テクノロジーセンター 堀 きらり



私たちの社会は、技術の進歩によるAIの台頭や自動化の発展、グローバル化、働き方改革といった大きな変化の中にある。このような変化は、製造業における企業活動にも多大な影響を及ぼしており、働く個人にとっても適応力が問われている。

私は現在、音羽電機工業株式会社に一般職として採用され、総務センターに配属され勤務している。総務は、企業全体を裏から支える重要な部門であり、経営層と現場の橋渡し役としての役割を果たす存在である。また、ものづくりに携わる社員たちが本来の力を発揮できるよう、職場環境を整備し、組織全体の働きやすさを向上させることが重要であると考えている。

私は単に企業の枠組みに収まる存在ではなく、企業に所属することで自身の価値を最大限に発揮し、組織や社会に貢献できる存在になりたいと考えている。以下では、私が考える企業人の在り方と目指す姿について考え、ものづくりにかかわる社員たちを支え、会社を発展させるという自らの意志をどのように実現していくかを述べる。

1. 企業人としての理想像

実用日本語表現辞典によると、企業人とは、『企業に勤め、企業に所属する存在という観点から人を把握した言ひ方。あるいは、とりわけ企業に所属し活動する姿が特徴的な人のことを意味する語。』¹⁾であるという。社会人とは、『一般的には学生や無職などの身分を除いた、職業を持つ成人を指す言葉である。』²⁾とされている。そういった意味では、社会に出て、自ら賃金を稼いで生活を営んでいるため、社会人の一員とは言えるだろう。しかし、企業人という言葉の持つ、「活動する姿が特徴的」という部分に当てはまる存在になるためには、単に企業の指示に従って業務を遂行するだけではなく、自らの能力や創意工夫を発揮して企業の成長や発展に寄与する取り組みをなさなければならないと考える。また、企業活動を通じて、社会全体に価値を提供する意識を持つことが重要であるだろう。企業に所属するということは、個人の利益だけでなく、チームや会社、さらに社会全体のために行動する責任を負うことでもある。責任感を持ち、自分の力を組織の目標や社会的意義の実現に向けて発揮することが、真の企業人の姿だと考える。

よって私は、ものづくりを支える社員たちをサポートし、企業全体の成長に貢献する存在でありたいと考える。信頼される存在である総務は企業の基盤を支える部門であり、日々の業務が滞りなく遂行されることで、現場の社員たちが本来の力を発揮できる。私は、迅速で正確な対応を心がけ、誠実に業務を遂行することで、社内外から信頼される存在を目指したい。

また、近年企業活動がデジタル化されていく中で、AIやデータ活用の技術を取り入れた運用は必要不可欠になるだろう。その過程で、業務の効率化や新たな価値創造を推進したいと考える。特に製造業の現場では、総務の支援が現場の生産性や働きやすさに直結するため、付加価値を生むサポート業務を追求したい。特に製造業のような多様な部署が協力し合う業界では、部門間の調整や連携が必要である。私は、社員一人ひとりの意見や要望を尊重し、全体がスムーズに機能するための調整役としての役割を果たすことを目標としている。

2. AIの台頭と事務職の未来への不安

近年、AIやデジタル技術の進化が急速に進み、一般事務職の自動化が進行している。AIによるデータ入力や書類管理、スケジュール調整といった業務の自動化が進むことで、従来の事務職が担ってきた役割は変化を余儀なくされている。この変化は効率化をもたらす一方で、事務職としての将来に対する不安も生じさせている。実際に、「非定型的である対人業務は、臨機応変に対応する力が求められ、一定のルールのもとでしか動くことのできないAI・ロボットではなく、人間の担うべき業務となる。AI・ロボットによる業務の自動化によって、人間の担う仕事は今よりも非定型的で難化すると考えられる。」³⁾と述べられている。私自身も、自分が現在担っている業務が将来的にどのように変化するかに対して、不安を感じることがある。しかし、私はこれを「危機」として捉えるのではなく、自分自身を成長させるための「挑戦」として向き合いたいと考えている。AIの台頭による環境の変化に適応し、新たなスキルや役割を積極的に習得することで、価値ある存在であり続けることを目指している。

3. ものづくりの現場を支え、会社を発展させるための取り組み

ものづくりの現場を支えるために私が行いたいと考えることが三つある。一つ目が、現場との連携強化である。製造業の現場では、日々新たな課題が生まれている。現場の社員たちの意見に耳を傾け、彼らが安心して業務に集中できる環境を整備したい。例えば、現場見学や定期的なヒアリングを通じて課題を把握し、具体的な改善策を提案するなど、現場との密な連携を図りたい。

二つ目が、デジタルツールの活用と業務効率化である。総務課の業務には、反復的な作業が多く含まれている。これらを効率化するために、AIや作業の自動化を導入し、現場支援や戦略的業務により多くの時間を割ける体制を構築したい。

三つ目が、働きやすい環境の整備である。ものづくりの現場では、社員が生産性を最大化できる環境が重要である。労働環境の改善や柔軟な働き方の導入を進め、全社員が安心して働ける職場環境を整えたいと考えている。

4. 目標を実現するためのスキルと自らの可能性

私が目指す理想像を実現するためには、次のスキルや行動が必要であると考えます。まずは、AIリテラシーの習得である。上記にも述べたようなAIやデジタルツールを効果的に活用するには、やはり知識が必要である。AIやデジタルツールを敵として忌避するのではなく、生産性を上げ効率化するための助けであるという認識で、「使いこなす」力を身につけたい。

しかし、それだけではなく、日常のコミュニケーションを大切にしたい。特にメール等の文字のやり取り、目の前での会話、電話越しでの会話といった人と人とのやり取りを大切に、現場の社員や経営層、取引先との関係を円滑にするための効果的なコミュニケーションを行いたい。また、こうしたコミュニケーションの中で相手のニーズを正確に理解し、適切な提案ができるよう、長期的な学習によって自己啓発を続けることで、新たな課題や変化に対応できる柔軟性を養うことによって、自らの可能性は広がると考える。

企業人とは、企業の一員として価値を生み出し、組織や社会に貢献する存在だと考える。そして私は、ものづくりに携わる社員を支えることで会社の発展に寄与し、その成果を社会に還元できる企業人でありたい。そのために、AIの台頭などの変化の中でも、成長を続けるために努力を惜まず、自らの可能性を伸ばし信頼される存在として日々の業務に取り組んでいく。未来を切り拓く一步一步が、企業全体の成長につながると信じている。

〈参考文献〉

- 1) 実用日本語表現辞典「企業人」
- 2) 実用日本語表現辞典「社会人」
- 3) 早稲田社会科学総合研究 別冊「2019年度 学生論文集」『AI・ロボットの業務代替による労働の変化の考察』清水亮太著



株式会社福原精機製作所

本社 〒651-2242 神戸市西区井吹台東町7-3-5
T E L : 078-997-8800 / F A X : 078-997-8806
URL : <https://pfw.co.jp/>
代表取締役社長：山田 剛

当社は1956年創業の丸編機メーカーです。1923年に繊維機械の輸入業を創業した福原産業貿易から分社独立して以来、丸編機の開発・製造に専念してきました。

丸編機とは繊維機械の一種でありカットソーに代表されるソフトで伸縮性のあるニット製品に使われる編地を大量生産する機械です。回転運動しながら100本前後の糸を同時に編み下ろす丸編機の基本原理は発明当初から変わっていません。

日本の繊維産業は戦前から高度成長期までは途上国型産業として発展し、日本経済を支える中心的輸出産業でした。福原産業貿易の創業者である福原友輔は昭和初期に「50年後にはメリヤス（ニットの古い呼び名）の時代が来る」と大風呂敷を広げ、編機の製造を始めました。当時はまだニットは馴染みのない素材でしたが、当社の操業間もない1960年頃からは状況が一変し、ニットブームが到来します。1961年には米国CAMBER社（現MONARCH社）と技術・販売で提携し、海外への販売も開始しました。日本の繊維産業はその後バブル経済までは成長を続けましたが、1985年のプラザ合意による円高とバブルの崩壊により急速に衰退しました。国内で繊維産業に関わる事業所数、従業者数も減少し、その傾向は今でも続いています。当時は国内の丸編機メーカーも10社ほどあったようですが、今では当社のみとなりました。繊維産業が成長を続けていた1960年代に海外への販路を築いたことが、後の国内繊維産業衰退の影響を最小限に止め、当社の事業継続を可能にした大きな要因となりました。現在では製品の95%を海外に輸出しています。



1960年代に米国市場向けに開発したパターンホイールジャガード編機

編地の主な用途は衣料品です。ニット製品が一般に普及するようになった当初は天然繊維である綿が主な素材でした。その肌触りの良さから肌着に使用されることが多く、編地の需要増と共に生産性を高める開発を進めました。また一台の丸編機の部品を交換することで、編目の細かさや編地のバリエーションを変更することができる機能を世界で初めて実現しました。

ニット製品の普及に伴い、肌着だけでなくアウターウェアとしての需要が高まるとファッション性が求められるようになりました。1970年代には電子柄編機を開発し、無地だけでなく色糸を使って多彩な柄を表現できるようになります。また編みながら色や素材の異なる糸を切り替える装置も開発し、丸編機から生み出される編地が衣料品の素材として確固たる地位を築いていきます。

合成繊維であるポリエステルが普及し始めると糸の太さや物性のバリエーションが増え、更には機能性を持った糸が次々に開発されます。綿を素材とした編地は着心地は良いのですが、汗をかくと張りつき、乾きにくい特性を持っています。その改善策として綿とポリエステルの特性を生かすため、それぞれの糸を一枚の編地の表と裏に編み分けることが求められました。糸を供給する位置関係、編針の形状とその軌跡を最適化することで汗をかいても乾きやすい編地が実現します。

編地の用途は衣料品に止まらず、資材関係（カーシートやマットレス）でも使用されています。それぞれの用途に応じて使用される糸、求められる物性は様々であり、時代の流れと共に変化し続けてきました。

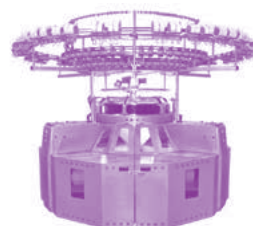
近年ではより薄い編地やUVカット機能を持つ編地が求められ、その実現にはより精密な加工技術や部材摩耗を軽減する技術が必要になります。当社の持つニット技術で世界中の人々の生活を快適にすることを使命として、研究開発を進めています。

繊維産業はエネルギーや水等の使用による環境負荷が大きいと言われており、サステナビリティへの関心が高まっています。グローバルに競争力を維持・強化していくためには設備としての丸編機にも環境負荷の低減や人権への配慮が求められます。

高効率な丸編機の開発、自動化による作業者の負担軽減を実現することで、ニット製品のグローバルなサプライチェーンの中で丸編機が少しでもサステナビリティな社会実現に貢献できるよう、これからも挑戦を続けていきます。



プレゼンテーションルーム



OD7-M2XC-A3.2RE シングルニット・レースウェイ編機

第21回 兵庫工業会 ゴルフ大会 2025



ラウンド前の集合写真



優勝者への景品授与



表彰式の様子

第21回兵庫工業会ゴルフ大会は、小野東洋ゴルフ倶楽部にて5月10日(土)に開催しました。今回は、12組48名の方にご参加いただきました。心配された天候もスタート時点では回復し、日頃の腕を発揮され、楽しい1日となりました。

☆優 勝☆	梅月 健次 氏 (ダイキンエアテクノ(株))	Gross 98 (OUT48/IN50)	NET70.4
☆準 優 勝☆	中嶋 格 氏 (株)シマブンコーポレーション)		
☆第 3 位☆	小谷 要 氏 (グローリー(株))		
☆ベストスコア賞☆	中川 啓之 氏 (第一熱研(株))	Gross 85 (OUT41/IN44)	

来年度もゴルフ大会を開催いたしますので、ご参加よろしくお願い申し上げます。

新 会 員 紹 介

大和産業株式会社

代 表 者 代表取締役社長 岡田 兼明
所 在 地 671-1234
姫路市網干区新在家334
T E L 079-273-1221
F A X 079-273-1223
U R L <http://www.daiwagroup.co.jp/>
資 本 金 45,000千円
従業員数 50名

■営業品目

ティッシュ、ウェットティッシュ、マッチ、美術印刷、ラップ、文具、カレンダー、タオル、非常用備蓄品等の日用雑貨、広告販促用品製造・販売

■事業内容

暮らしに役立つ生活日用品をはじめ、もらって嬉しい粗品、記念品などをお届けします。また、近年の日本は災害大国と言ってよく、安全安心を確保するための各種防災用品もお届け致します。起源はマッチの製造メーカーとして105年の社歴を誇りますが、近年では10年保存保証のウェットティッシュなど、皆様の安心・防災のための備えのお手伝いも致しております。



株式会社フェニックス商会

代 表 者 代表取締役 松本 由美子
所 在 地 〒651-0083
神戸市中央区浜辺通2丁目1-30
三宮国際ビル8F
T E L 078-252-0071
F A X 078-231-2128
U R L <https://www.phoenix-intl.com/>
資 本 金 10,000千円
従業員数 5名

■営業品目

ベアリング、機械要素部品、荷役運搬機器、作業工具、ショベル等日本製品の輸出（新規事業）日本酒、有機米、食料品等の輸出、越境EC、他 旅行業

■事業内容

創業以来50年を超え、欧米を中心に世界40カ国以上の取引実績を築いてまいりました当社は、日本製の産業機械部品・工具を強みとする専門商社です。信頼と品質、技術力、そして情熱。日本のものづくりを世界とつなぐ——それが私たちの使命です。

堅実な経営とチャレンジ精神を両立させながら、各国の市場に精通した現地バイヤーとの直接取引を通じて、“日本製”へのこだわりを貫きつつ、地域ごとの多様なニーズに的確に応える製品・サービスの提供を実現しています。

“Quick Response, Superb Service and Best Solution to Your Satisfaction!”
～ MADE IN JAPAN の誇りを、世界の現場へ！～



兵庫工業会ホームページに会員様の企業広告を掲載できます。



※広告をクリックするとHPへ移行いたします。

◆サイズ：縦：横 = 400px：580px JPEG形式として
容 量 = Max 4MBまで

※アニメーション、ロールオーバー等画像が変化するものはご遠慮願います。
※広告デザイン等につきましては、広告主様で作成をお願い致します。

◆掲載期間・料金：1年 / 20,000円 (税別)

※掲載期間についてはホームページ掲載後1年とします。

◆詳細・お申し込みは右記QRコードまたはHPよりお願いいたします。



お申込
・
問合せ先

公益社団法人 兵庫工業会 事務局 (担当：川井、宮岸)

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 6-3-28 兵庫県中央労働センター3階
TEL：078-361-5667 FAX：078-371-4336

叙勲・褒章の栄

令和7年春の叙勲・褒章が発表され、当工業会では次の方がその栄に浴されました。
会員の皆様とともに、心からお祝い申し上げます。

旭日单光章	池上 良成 氏	赤穂化成株式会社 代表取締役社長
-------	---------	------------------

新メンバー紹介

4月より着任

- 氏 名／是川 裕介
- 星 座／射手座
- 血液型／O型
- 趣 味／ゴルフ

(上手くないです)

■抱負

兵庫工業会の一員として、会員企業の皆さまのお役に立てるよう、微力ではございますが、一生懸命に取り組んで参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



会 員 動 向

代表者登録変更

企 業 名	新 登 録 者	年 月
(株)I H I ビジネスサポート相生支店	取締役支店長 合馬 次郎	2025年4月
大阪冶金興業(株)三木工場	専務取締役工場長 尾西 晃	2025年4月
大塚製薬(株)ニュートラシューティカルズ事業部関西第一支店	支店長 飯間 真	2025年4月
(株)O K A M U R A	代表取締役社長 岡村 和幸	2025年4月
(株)川重サポート	代表取締役 森 浩昭	2025年4月
キリンビバレッジ(株)近畿圏統括本部近畿圏支社	支社長 福士 健太郎	2025年4月
(株)神戸新聞社	代表取締役社長 梶岡 修一	2025年4月
コベルコ建機(株) 大久保事業所	大久保事業所長 山下 俊治	2025年4月
コベルコシンワ(株)	代表取締役社長 濱川 久男	2025年4月
(株)佐藤鉄工所	代表取締役 佐藤 信介	2025年4月
神鋼鋼線工業(株)	取締役社長 北山 修二	2025年4月
大成エンジニアリング(株)	常務取締役 三井 紀夫	2025年4月
(株)大和化成研究所	代表取締役 平田 融作	2025年4月
大和ハウス工業(株)	神戸支店長 谷口 晋也	2025年4月
(株)タクミナ	代表取締役社長 山田 圭祐	2025年4月
トーカロ(株)	代表取締役社長執行役員 小林 和也	2025年4月
(株)トーホー	代表取締役社長 上村 純也	2025年4月
日工(株)	取締役社長 中山 知巳	2025年4月
姫路合同貨物自動車(株)	代表取締役社長 藤田 弘一	2025年4月
富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)兵庫支社	支社長 松田 順一	2025年4月
兵神機械工業(株)	代表取締役社長 友藤 昇平	2025年4月
(株)前田精密製作所	代表取締役社長 前田 真	2025年4月
まねき食品(株)	代表取締役社長 竹田 典高	2025年4月
(株)みなと銀行	代表取締役社長 持丸 秀樹	2025年4月
豊岡市工業会	会長 木築 基弘	2025年4月
宮城県大阪事務所	所長 三浦 強	2025年4月
日本製鉄(株)関西製鉄所 大阪地区 (尼崎)	参与 関西製鉄所 副所長 高岡 純一	2025年5月
(株)フクトク	代表取締役社長 福田 梓	2025年5月
兵庫県職業能力開発協会	会長 山脇 昭彦	2025年5月

代表者役職変更

企 業 名	新 役 職 名	年 月
(株)インフラプラス	代表取締役社長 中島 誠一郎	2025年4月
(株)大林組 神戸支店	執行役員支店長 浦田 充啓	2025年4月
(株)オカデン	代表取締役 高谷 勇介	2025年4月
関西キリンビバレッジサービス(株)	代表取締役社長 尾崎 靖幸	2025年4月
(株)神戸ポートピアホテル	代表取締役社長執行役員 中内 仁	2025年4月
(株)さくらケーシーエス	取締役社長 加藤 貴紀	2025年4月
(株)フジ・データ・システム	代表取締役社長 藤嶋 純子	2025年4月
明昌機工(株)	代表取締役社長 赤田 昌史	2025年4月

イベント情報

月 日	事業名・内容	場 所
7月16日(水)	人材難課題解決事例紹介イベント	(株)タイネクス 多可 R & D センター
8月19日(火)	第2回理事会・テクノフォーラム2025	ホテルオークラ神戸
9月12日(金)～13日(土)	管理監督者研修	加古川プラザホテル

夏期休業のお知らせ

本会では、誠に勝手ながら8月13日(水)～8月17日(日)まで、夏期休業といたします。この間何かとご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人
兵庫工業会

本 部
神戸事務所

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3 階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336 / Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL http://www.hyogo-ia.or.jp

姫路事務所

〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる 3 階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231